

鹿児島防災シンポジウム

8・6水害から30年

～次世代への継承と備え～

| パネリスト | Panelist



地頭蘭 隆氏

鹿児島大学教授

鹿児島市出身。専門は砂防学・土砂災害。8・6豪雨災害をはじめ、出水市針原地区の土石流災害、新燃岳噴火災害など、40年以上にわたり土砂災害に関する研究に取り組む。九州地方整備局の緊急災害対策派遣ドクターも務め、災害時の現地調査や復旧の指導・助言も行う。



磯打 千雅子氏

香川大学特命准教授

岐阜県出身。専門は地域防災。2018年7月の西日本豪雨で広範囲が浸水した岡山・倉敷市真備町で、地区防災計画づくりの支援をしてきた。真備では、クラウドファンディングを活用した住宅の改修や避難・交流拠点の整備にも取り組んでいる。



山内 竜二氏

鹿児島市危機管理局長

1987年、鹿児島市役所に入庁し、8・6豪雨災害時は職員厚生課で避難所運営などに従事。その後、健康福祉局福祉部長などを経て、2021年4月に危機管理局長に着任した。交通安全・防犯対策などの安心安全なまちづくりに関する施策、防災・危機管理に関する施策の推進にあたっている。



ねおさん

鹿児島出身のモデル/動画クリエイター

鹿児島市出身の21歳。高校生の時に若者に人気のファッション雑誌「Popteen」の専属モデルに。現在は、モデル/動画クリエイターとして活躍し、TikTokをはじめとするSNSのフォロワー数は430万人超え。若者の視点で、災害の怖ろしさ、備えの大切さを伝える。

| 司会・進行 | Moderator



白鳥 哲也

NHK鹿児島アナウンサー

曾於市出身。1995年NHK入局。長崎局、京都局、松山局、沖縄局などを経て、東京アナウンス室でEテレ「きょうの健康」キャスターなどを担当。現在は、ふるさと鹿児島で「情報WAVEかごしま」キャスター。



豊平 有香

MBC南日本放送アナウンサー

鹿児島市出身。中学2年生の時、8・6豪雨災害を体験した。2002年、報道記者としてMBCに入社後、当時を知る人や街の変遷などを取材してきた。「MBCニュースナウ」のキャスターなどを経て、現在はラジオ番組を中心に、パーソナリティ・ディレクターを担当している。

交通アクセス

センタース天文館
鹿児島市千日町1-1

【電車】鹿児島中央駅より市電「鹿児島駅前」行に乗車し、「天文館通り電停」すぐ
【バス】鹿児島市全域の各交通機関が停車する「天文館バス停」すぐ